

# TOWN TALK

# あなたの街で市長と語ろう

さまざまな市政の課題について、市民と市長が直接意見を交換する「タウントーク」。今回は、清田区で開催された内容を紹介します。



## タウントークメモ

- ・開催日／2月9日(土)
- ・会場／清田区民センター
- ・参加総数／約100人
- ・発言者数／12人

## 札幌市が破産しないか心配です

清田地区

やま だ ただひこ  
山田 忠彦さん

市の借金は、いつ無くなるのでしょうか。借金が増え続け、最終的に財政破たんしてしまうのではないかと不安になります。



市長から

道路や学校などは、将来利用する市民にも公平に負担をしてもらうため、借金をして分割払いにしています。もちろん、計画的な返済に努めており、ここ数年は借金の残高を減らしています。

## ごみ有料化の前に話し合いを

里塚・美しが丘地区

まつざき ひとし  
松崎 均さん

ごみを有料化すれば減量できるのか疑問です。有料化する前に、市民と市がもっと話し合いをして、分別を徹底するなど違う形でごみの減量に取り組むべきだと思います。



市長から

有料化することで、ごみ減量の努力をした方ほど費用負担が少なくなります。これはごみ減量の動機付けになると考えており、市では現在、市民の皆さんの声をいただきながら検討を進めています。\*

\*検討の結果策定した計画書は4月10日(木)から配布します。詳しくは26頁

## 福祉灯油を実現してほしい

清田地区

まつだ ひでき  
松田 英樹さん

原油の高騰で灯油代の支払いが大変なので、収入の少ない世帯に灯油代を支給してください。道内の多くの市町村が1世帯当たり5,000円～1万円の支給をしていますよ。



市長から

灯油の値上がり分に対応することが大切であり、また財政難の中13億円以上の支出は厳しいと考え、福祉灯油の支給は困難と判断しました。そこで、1世帯当たりの値上がり分に相当する5万円を上限とした貸し付け\*を行うことにしましたのでご理解ください。

\*貸し付けの申し込みは2月29日で終了しました

